

## 平成29年度 第二回柏崎市交通安全対策会議 議事録

日 時 平成29年7月10日 午前10時00分から11時00分  
会 場 柏崎市役所 4階大会議室  
出席委員 竹原委員、本間（敏）委員、佐藤（孝）委員、池田（真）委員、近藤委員、今井（貢）委員、本間（厚）委員、清水委員、池田（弘）委員、佐藤（大）委員、今井（さ）委員、宮嶋委員、永寶委員、本間（精）委員、大沢委員、小林（紀）委員  
代理出席 東海林委員（代理今井（英）氏）、水澤委員（代理小林（正）氏）  
欠席委員 小池委員  
事務局 小菅市民活動支援課長、市民活動支援課生活安全係員

### 1 開会

### 2 会長あいさつ

### 3 委員紹介

### 4 議事

#### （1）第10次柏崎市交通安全計画（案）について

- ・第一回交通安全対策会議における意見に対する回答
- ・パブリックコメントの結果

A委員 前回、「交通事故死者数全体に占める高齢者の割合を50%未満とする」という目標について発言したが、これは傾向を見るような指標であって、最終目標にするようなものではないと思う。

県の計画では「期間中の各年において前年よりも高齢者の死亡者数を減少させることを目指す」となっている。

高齢者事故の対策に重点をおくことに異存はないが、全体の死亡者数に大きく影響されるような指標を用いるのはどうかと思う。

事務局 ご指摘のとおり、高齢者死者の割合は分母となる死亡者全体の数が少ないと、大きく変動する可能性があるが、高齢者は一度事故に遭うと重症化する傾向があり、重点的に対策を行いたいと考えている。

前期計画期間中と比較して高齢者死者の割合が増加していることもあり、前期計画の目標である「高齢者死者の割合を50%以下に」から「50%未満に」と厳しく設定した。

会長 確かに柏崎市の場合は分母が小さいので、全死者2人中、高齢者が2人だった場合、割合が100%になってしまうことになる。

この箇所についてはせっかくご指摘をいただいたことでもあるので、50%未満という数字を挙げるのではなく、高齢者死者の割合が高いという趣旨を生かすような形で文章を修正するという事で、事務局に一任していただきたい。

B委員 計画案のP3に「最近では高齢者の加齢に伴う身体的な衰えを原因とする交通事故がマスコミ等で大きく取り上げられ、社会的反響が大きくなっていることから、このような「高齢者加害事故」を減少させる取組を行うことが必要です。」とあるが、これは後ろ向きな表現ではないか。

逆に言えば、マスコミに取り上げられなければ取組をしないのかと受け取られる。  
会長 この部分の記述に関しても、表現に変えるということで事務局にお任せいただきたい。

会長 他にご意見が無ければ、訂正は事務局に一任いただけるということで、本案については拍手をもって承認いただきたい。

—承認—

(2) 平成29年度柏崎市交通安全実施計画(案)について

A委員 実施計画の見出し項目はⅠ道路交通環境の整備からⅦ被害者支援の充実と推進と続き、最後にⅧ踏切道の安全についての施策という順番になっているが、第10次計画の分野別施策では、見出し項目が踏切道の安全についての施策だけ別に分かれており、つながりが分かりにくい。

C委員 平成28年度までの実施計画も同様の構成になっているが、これまでの実施計画の項目を踏襲したため、このような作り方になっている。

踏切道に関する施策は市が単独でできる部分が限られている中、単年度計画の具体的な取組については、他の取組項目と並列にしていると理解している。

A委員 第10次計画からどのように単年度の実施計画に展開されているか分かりやすいようにしていただきたい。

会長 今のご指摘は踏切道の項目について、実施計画では見出しの8番目にあるが、第10次計画では別段に配置されており、つながりを分かりやすくということであると思うが、次年度以降、実施計画を作る際には分かりやすくなるように考えたい。

B委員 第10次計画の中に入れてもいいのかも知れないが、ヒューマンエラーに関する視点を盛り込んだらどうか。

ヒューマンエラーに伴う事故は高齢者に限らず、若い人にも発生しており、意識の向上や教育だけでは防止に限界がある。

近年、メーカーはかなり力を入れて技術開発を進めており、ヒューマンエラーに対処する技術が随分進化している。

財政的な問題もあるかと思うが、こういった技術をうまく利用することを検討してはどうか。

会長 現在各メーカーが安全技術開発を進めているが、確かにこういった記述が第10次計画にも、平成29年度の実施計画にも見当たらない。

可能であれば両計画に入れ込むことを検討してほしい。

D委員 自分も高齢者の仲間入りをし、免許の返納を意識するが、他の方がどういうきっかけで返納したのか知りたいと思う。

そういった体験談を広報することで、返納に対する気持ちの区切りがつかうのではないか。

事務局 貴重なご意見であるので、実現に向け関係機関と協議したい。

会長 現在、柏崎市では自主返納した方も含め、高齢者にバスを使っていたきたいという趣旨で循環バスの運賃を半額にする実験を行っている。

自主返納の推進という意味も含めて、皆様の声をお聞かせいただきたいと思っている。

- E委員 P14の交通事故相談業務の充実に関する箇所であるが、内容が簡潔すぎる。  
自分はこれまでの経験から、損害賠償などについて様々な資料も提供できるので、もう少し詳しく対応する旨、記述した方がよいのではないか。
- 事務局 まず消費生活センターで聞き取りを行うが、全て解決できるわけではないので、場合によっては他の相談機関につなぐことが重要であると考えている。個々の解決方法についてはE委員を含め、皆様のお知恵を拝借しながら対応したい。
- 会長 この箇所については事務局でもう少し記述を具体的に修正するように。
- D委員 P7に視聴覚教材（ビデオテープ等）との記述があるが、今はビデオテープではなくDVD等の方が適切ではないか。
- 事務局 修正する。
- A委員 P11に柏崎警察署地区交通安全対策連絡協議会に対する負担という項目があるが、文章内では支援となっている。  
負担ではなく支援が適切ではないか。
- 事務局 修正する。
- 会長 他にご意見が無ければ、平成29年度柏崎市交通安全実施計画（案）について拍手をもって承認いただきたい。

—承認—